

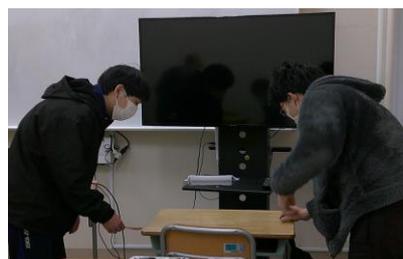
学校名	兵庫県立阪神昆陽高等学校
-----	--------------

1 ICT を活用した自立活動指導の実際

- (1) 指導期間・指導時数
R 4 年 10 月～R 5 年 1 月
- (2) 使用した遠隔システム
ZOOM・GoogleTeams を搭載した iPad を使用する。
- (3) 指導目標
 - 長期目標
本校の生徒と積極的に ZOOM を通して会話できるようにする。
 - 短期目標
ICT を活用し、ZOOM に慣れる。
- (4) 自立活動の区分・項目
コミュニケーション・心理的安定
- (5) 指導内容
ZOOM・Teams を用いた、対話の練習
- (6) 指導の手立て
両校の担当者だけでなく、両校が組織として役割分担をし、行う。
- (7) 指導上の工夫
人数や相手を変えながら、多様で実際的なかわりの練習
- (8) 校内の指導体制
本校は遠隔システムをつないで準備していたが、日程調整が上手くいかず生徒との交流はできなかった。
- (9) 関係機関との連携（在籍校・保護者・医療・福祉等）
文書等だけでは把握できない状況の共通理解について、尼崎工業高校担当者に行った。



授業の様子



スプーンとビー玉を使い、視線と動作を一致させる実践



2 成果と課題

児童生徒の変容 (指導開始前) ・ZOOM で阪神昆陽との交流を図ることに意欲があった。	(指導開始後) ・交流を図るまでの段階が難しく日程調整ができない。
--	--------------------------------------

成果

尼崎工業高校の通級受講生徒から前向きな声があったので、次年度に向けて実現できるが増えると考えます。

今後の課題

ICTを取り入れても、個々の発達課題があり積極的な活用ができなかった。次年度は対面で会ってから、段階的にZOOMへの移行が必要と考えます。

3 ICTを活用した自立活動指導についてのコメント (児童生徒、保護者、教員等の声)

ICTに慣れるという大前提が解消されず、とても残念であった。

尼崎工業高校の担当者も熱心に取り組み、学校も協力的に関わっているので、継続的に推進したい。